

## 栗東市農業振興基本計画等に関する地域説明会 参加者アンケート結果

### 1. 地域説明会参加者アンケートについて

地域説明会に参加頂いた方々へ、アンケート調査票を配布し質疑に対応するとともに、栗東農業振興地域整備計画の見直しに関する市の方針や今後の土地需要（農用地区域の除外／編入）に対する意見等を聴取しました。

#### ■ アンケート調査票回収状況（アンケートは、地域説明会当日に回収）

実施日	地域	参加者数	回収数
6月29日（火）	金勝地域	19名	15票
6月30日（水）	葉山地域	17名	16票
7月2日（金）	大宝地域	13名	10票
7月5日（月）	治田地域	14名	13票
	総 数	63名	54票

#### ■ アンケート調査票

<p style="text-align: center;"><b>栗東農業振興地域整備計画の見直しについて 参加者アンケート</b></p> <p>栗東市では、今後、「栗東市農業振興基本計画」及び「栗東農業振興地域整備計画」を推進し、市全域及び地域の農業振興に取り組んでまいります。 恐れ入りますが、本日の説明会を通して、<u>あなたの身近な農地</u>に関して、ご意見等がございましたら、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">         ※ご自身の所有する農地だけでなく、その周辺やお住いの周辺の農地などについてお答えください       </div> <p>(1) あなたの身近な農地について、<u>地域でこれからも守っていくべき、確保すべきと考える農地</u>はありますか。具体的な場所や状況についてお答え下さい。 (特に無しの場合は、無記入でも構いません)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin: 10px 0;"></div> <p>(2) あなたの身近な農地について、<u>現状再生が困難であり、山林に戻したほうが良いと考える農地</u>はありますか。具体的な場所や状況についてお答え下さい。 (特に無しの場合は、無記入でも構いません)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">裏面に続きます ➡</p>	<p>(3) その他、地域の農地や農業についてご意見がございましたら、ご自由に記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin: 10px 0;"></div> <p>※さしつかえなければ、ご回答者様のお名前・連絡先をご記入ください。 アンケートの内容について、市からおうかがいすることもありますので、よろしく願いたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">         お名前:       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">         連絡先(電話、e-mail、住所など):       </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">ご質問は以上となります。 本日の説明会のご参加誠にありがとうございました。</p>
---	---

## 2. 参加者アンケート結果概要

(1) あなたの身近な農地について、地域でこれからも守っていくべき、確保すべきと考える農地はありますか。具体的な場所や状況についてお答えください。

### ■金勝地域

#### 意見一覧

- ・井上地区の現状の農地は維持する。
- ・当地区の農地
- ・地域の中、土地改良ができた田
- ・現状でよい
- ・現時点での金勝の農地
- ・中山間地の遊休農地や空き家対策として対応、所有者等との相談を含め活用等の相談も進める必要性もあると考えます。(走井地区に限らず)
- ・農地を守るために、転用の方向性や利用状況を調査し、修正する

⇒金勝地域の現状の農地を維持、確保すべきとの意見が多くあがりました。また、農地を守るために、遊休農地・空き家対策や所有者等への利用状況や意向の調査が必要ではないかとの意見があげられました。

### ■葉山地域

#### 意見一覧

- ・圃場整備事業が成功した土地
- ・六地蔵集落においては、ほ場整備区域はもちろんのこと区域外においても農地として保全すべきものと考えています。
- ・六地蔵、伊勢落、辻、林などは残した方が良いが宅地がいびつに入り込まないようにする必要があると感じる出庭、中、宅屋についてもバイパスの開発が進んでいるがまとまった農地としては優良であると感じる。
- ・葉山地域の集団農地とその農地に用水や排水となる水路や水は守るべきで、住宅等で水が引きにくくなっている水路をどのように保全していくか考えてほしい。
- ・まちづくりにおいて農地がだめになるため、今後三角田にならない様にしていただきたい。
- ・今まで農業をしていたが高齢化で農業が出来ず、自己管理地として作付けをしない農地が増えてきた。これらの土地対策が必要で利用方法を考える必要がある。
- ・今まで野菜をされていた所が高齢化のため放棄されてしまった土地が数か所あります。空地の所有者が管理されている所もあります。中に入って野菜の栽培をやりたい方もおられるので貸出し方等アドバイス出来るように指導お願いします。
- ・農振地は守って行くべき、白地は可能な限りだが地主しだい

⇒ほ場整備されている農地等まとまった農地を守っていくとともに、その中でも農業者の高齢化により耕作されていない農地の適正な管理をすべきとの意見がありました。一方で、優良な農地であっても宅地化により農業が難しいとの意見がありました。

## ■治田地域

### 意見一覧

- ・金勝川から名神の間の農地。目川、岡、下戸山の圃場。
- ・棚田の保全
- ・清流沿いの農地
- ・違法埋めたて農地を元の状態（田んぼ）へ戻す。山林化している耕作放棄地を農地から解除する。（本当の集落の水田（畑）面積が分からないため。）
- ・住んでいる地域は土地開発が進み、農地が1haもない状況であり、10年後にはほとんど宅地化されるであろうと推測する。

⇒地域として守っていく農地として、「目川」、「岡」、「下戸山」等の金勝川沿いの農地があげられました。

## ■大宝地域

### 意見一覧

- ・農振地域（青色）の現在残った農地の確保、大宝地区としては蜂屋と野尻の一部、十里と霊仙寺の水田
- ・霊仙寺：体験農園をするための農地は10アール程必要です。水田では農業用水路より水が漏れる等の整備や修理が必要になってきています。
- ・蜂屋地域で新幹線より西側だけかなと思います。
- ・「農地として守る」という考え方は、狭い考えのような気がします。地域にとっては自然豊かな地域であることが理想です。農地はそのひとつ。

⇒現在農振地域内の農地の確保と、特に「蜂屋」、「野尻」、「十里」、「霊仙寺」の農地は確保すべきではないかとの意見があげられました。

(2) あなたの身近な農地について、現状再生が困難であり、山林に戻した方が良いと考える農地はありますか。具体的な場所や状況についてお答え下さい。

#### ■金勝地域

##### 意見一覧

- ・井上地区で太陽光発電を計画している所に接する農地（水は良いが谷の所で日当たりが悪くて稲作等には労力、生産性が低い）
- ・転出された方の所有地（休耕田）が荒地である。
- ・大雨で法面がくずれ土砂が山積のままの土地
- ・金勝の各地にある。
- ・東坂の水源が無く、また再生が困難な農地
- ・当地区には上記該当の農地有りますが長期により話合いが出来ていない。（地権者が話に応じない。以前より畑にするとやっているが、考えている事がわからない。）
- ・「山林に戻す」⇒「果樹園等に活用」といった方向性で考える必要性があり、そのような提案ができる体制も必要。
- ・特になし（多数）

⇒周辺の開発や大雨の被害等により耕作が難しい農地等の意見があげられました。一方で、山林に戻すだけではなく、果樹園等として活用できないかとの意見があげられました。

⇒金勝地域だけでなく葉山地域、大宝地域からも金勝地域の現状再生が困難な山間部の農地に対しては、山林に戻してもよいのではないかと意見があげられました。

#### ■葉山地域

##### 意見一覧

- ・山林に戻せるような場所はありません。
- ・JA カントリーの奥の土地現在道水路で使用出来ない。
- ・金勝などの山間地
- ・現在、再生困難な農地はないが5年～10年後に荒廃農地が発生してくると思われる。集落全体で検討する必要がある。
- ・特になし（多数）

⇒特になしとの意見が多くあげられた中で、現状は、再生困難な農地はないが今後発生する恐れがあるので、集落として検討すべきとの意見があげられました。

#### ■治田地域

##### 意見一覧

- ・特に無し（多数）

⇒特に無しとの意見が多くあげられました。

#### ■大宝地域

##### 意見一覧

- ・特に金勝地区の耕作者の無い農地は山林に戻す方が良い（広葉樹の植林）
- ・山林に戻し、山が守れるのであれば戻す方が良い。
- ・特になし（多数）

⇒特に無しとの意見が多くあげられました。

(3) その他、地域の農地や農業についてご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

#### ■金勝地域

##### 意見一覧

###### 【農地について】

- ・農地の真中に、コンビニはいらない。(ゴミ、騒音等の環境悪化が発生している。)
- ・山手地域での集約は困難である為あえて、集約化する必要がないと思います。
- ・農地であっても、地域に農業者、農業後継者のいない地域は無理に耕作する必要がないと思う。
- ・水田で荒廃になる農地には果樹・花卉(枝物)を栽培しては？

###### 【担い手について】

- ・農業者の高齢化に伴い、後継者がサラリーマンとの兼業のため思うように農業に目を向けてくれない。そのため、認定農業者の育成が急務である。
- ・農地を集約化して法人化することを目標とすることも理解できるが後継者がいないため集約集積した農地を担う人が確保できない。

###### 【獣害の被害、対策について】

- ・獣害対策が必要(複数)
- ・ジャパンエース側でシカの被害が多い
- ・獣害対策として柵の対応だけでは限界になっている
- ・猪や鹿の根本的な対応(駆除)を行ってほしい。

###### 【補助金、支援について】

- ・来年、田植機の購入を考えているので補助金をお願いします。
- ・不整形農地への対策をお願いしたい(支援を含みます)
- ・土地改良事業から50年たち、用水施設が老朽化しており、支援等対策をお願いしたい
- ・農業の省力化のため、営農組合の機械導入を考えており、補助金をもっと多く出してほしい。

###### 【その他意見】

- ・「農に親しむ」と「農業」を混同しないよう収益を目指す方向性をしっかり考える必要があります。一方で地域の農産物を知っていただく機会作りが大切です。あえて「ネットでは売らない」といった販売方法も考えられるのではないのでしょうか。
- ・地域おこしが出来る農業施策が必要ではないか。

## ■葉山地域

### 意見一覧

#### 【農地について】

- ・現在片岡栗東線（県道）と 8 号バイパスに完成の見通しがあり、近隣の農地は市外化すべき兆しが出始めていきます。
- ・バイパスで三角農地が多く、集団農業ができず利用にこまっています。
- ・農地の青地をなくしてほしい（農業以外に使用できない。）
- ・個人の土地でありますので当人と相談が必要です。

#### 【担い手について】

- ・ワークショップの「10年後の地域の理想の姿」に少しでも実現できるよう努力したい。そのためにも次世代への引継が重要であると思う。
- ・現在の農地がほとんどアパートマンションになり農地自体が少なくなり又、後継者も農地に米を作る事に無関心の状態です。

#### 【地域との交流について】

- ・アグリ郷周辺の農地の活性化
- ・農村公園のように多品目の栽培を
- ・集積農地を使ったイベント 3 年先、対象を含め計画「ワクワク感」の持てる地域振興を考える。

#### 【その他の意見】

- ・各集落では何十年後かには無理になるので、農林課がもっと強いリーダーシップをとって栗東市にどれだけ農業が必要なのかを考えるべきである。栗東市における農業の比重を考えて。同じことばかり何十年前から意見は同じである。
- ・広報に農業者の活躍をドンドン載せて欲しい、農業で成功している方も SNS 等を活用して情報発信をしてほしい。

## ■治田地域

### 意見一覧

#### 【農地について】

- ・金勝川沿いの地区では水はけの悪い田が何枚かある。
- ・金勝川の平地化について、もう少し上流側にも工事を行って水はけの良い田にして頂きたい。
- ・担い手のために、もっと集落の協力がほしい。(農地確保←小麦、大豆のため) もう一度、区画整理をして5aなどの田んぼをなくし、将来の担い手が農業経営できるようにしてほしい。地主の負担の少ないような区画整理。
- ・治田地域では、目川、岡、下戸山に調整区域農地が740反ほどしかない。この区域は集団化し、6次産業化すべき(10年後を見すえて)
- ・中沢での農地は6反程しかありません。稲作は4反でこの先0となる可能性があります。

#### 【担い手について】

- ・大規模農家優遇が進んでいるが、小農家が置きざりにされている感がある。営農面積の割合においても小農家の面積がかなりの面積を占めている気がするが。
- ・各農家で今後のことを考えるのではなく、近隣地域との話し合いの場を設けて、今後の農家のあり方を考える必要があると思います。そのためにも行政の方で、そのような機会を設けて頂ければと思います。
- ・我が地域では小面積の土地が多く荒地になっているので野菜作りにとと思いますが、なかなか話し合いになりません。
- ・地域の農地を守るために頑張ってくれている青年に感謝です。ずっと続けて頂ける様に願っています。農業に興味を持っている人がいれば、少しでも農地を使わせてあげたいと思いますが、いろいろ問題が…?
- ・学区農業者リーダーが集う場を設ける。
- ・農業組合(営農組合)統合のモデル作り。

#### 【支援について】

- ・市街化区域農地(耕作地)の税評価の引下げ。
- ・ハウス菜培の補助充実。
- ・化学肥料に代わる有機肥料の推進。

#### 【その他の意見】

- ・その他の区域は点在する市街化区域故、今後宅地化が進むだろうし、それまでは市民農園、体験農園、あるいは付加価値(無農薬野菜)のある農産物を採培し無人販売等をするのも1つの方法かと思います。
- ・「優良な農地」の定義考え方は農業者引いては市民の認識が同じである必要があるのではないかな。
- ・「夢」のみを語る機会づくり→アイデアの創造。

## ■大宝地域

### 意見一覧

#### 【(2) 以外で除外を望む農地】

- ・特に無し

#### 【農地について】

- ・残った農家への農地集積と、作業効率を考えると機械の大型化が進むのでそれに見合った圃場の拡大と農道のかく幅を進めてもらいたい。
- ・近年相続等もあって宅地化が促進されている今後農地はなくなりそうである。
- ・市街化区域での農業は忍耐しかありません。

#### 【担い手について】

- ・少しでも農業をやりたい人、農業の担い手を探している人をつなげるシステムがあればいいと思うし、あるのならもっと多くの人知れるようにすればいいのかなと思います。
- ・田助隊を各地で取組み兼業農家が守り、支え合う型をとりたい

#### 【支援について】

- ・水田は水害防止のダム機能があり、災害防止機能に見合った助成をすべき。

#### 【その他の意見】

- ・農地所有者、利用者、運営者、三方よしの市民農園モデルを作ると市民農業に関わる機会が増える「農」への理解が広がる。「自助」から広がる農業活性化が必要。行政に頼ってばかりではいけません。
- ・地域の農業は人材不足、資金不足等々、限界にきています。農作業も困難になりつつ、大きなテコ入れが必要と思います。